18273

第 44 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

学園祭総括報告書

学園祭総括報告書

平成 30 年度筑波大学学園祭実行委員会決算報告書

目的の評価

目的の評価補足資料

第 44 回雙峰祭アンケート

平成 30 年度筑波大学学園祭実行委員会

18273

第 44 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

学園祭総括報告書

I.　概要

II. 詳細

I. 概要 1

A. 名称 1
B. 目的 1
C. テーマ 1
D. 日程 1
E. 会場 2
F. 主催・後援 2
G. 運営組織 2
H. 企画 2
I. 予算の方針 2

II. 詳細 3

A. 委員長団 3
B. 財務局 5
C. 総務局 7
D. 広報宣伝局 8
E. 渉外局 12
F. 推進局 12
G. 総合計画局 14
H. 情報システム局 18
I. ステージ管理局 19
J. 本部企画局 22
K. 案内所運営部会 25
L. 調査専門部会 26

特に断りのない限り、本文書内の日付は平成 30 年のものである。また、平成 30 年度筑波大学学園祭実行委員会は以下「学実委」、学実委実行委員は以下「実行委員」、総括報告書は以下「総括」、実行計画書は以下「実計」、企画団体責任者連絡集会は以下「企団連」、ステージ組合は以下「ステ組」、全学学類・専門学群代表者会議は以下「全代会」、学内行事委員会は以下「内行」、企画を運営するサークルおよび一般学生団体および個人（教職員も含む）は以下「企画団体」、ゲストを含む企画団体の構成員は以下「企画団体構成員」、大学会館エリアは以下「会館エリア」、体育・芸術エリアは以下「体芸エリア」とする。学園祭実行計画書追加提出分にて記述した事項については、実計との相違点としては扱わない。

I. 概要

A. 名称

第 44 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

B. 目的

筑波大学は、日本各地さらには世界各地から様々な学問・活動に興味をもつ多くの人が集う国立総合大学として発展し、その特色ある校風を形成してきた。

筑波大学学園祭は、学生が中心となってこれを表現し、来場者が筑波大学の魅力を発見する場となることを目的とする。

平成 30 年度筑波大学学園祭実行委員会（以下、学実委）が、上記の目的を達成できたかを評価するために、必要な調査を行い、これに基づいて学内行事委員会（以下、内行）が学園祭終了後に「目的の評価」を作成する（詳細は「II.詳細 L.調査専門部会」）。

C. テーマ

「#つくばえ」

D. 日程

準　備　日：	11 月 2 日（金）	～20:30
前　夜　祭：	11 月 2 日（金）	15:00～21:00
本祭 1 日目：	11 月 3 日（土）	10:00～21:00
本祭 2 日目：	11 月 4 日（日）	10:00～21:00
片付け日：	11 月 5 日（月）	9:00～

※　本祭 2 日目の 18:00～20:30 までを後夜祭とした（詳細は「II.詳細　H.情報システム局、I.ステージ管理局、J.本部企画局」）

※　以下、前夜祭開始時から後夜祭終了時までを当日と表記する

※　当日とは企画が行われている時間を指し、本祭 2 日目とは企画開始から同日 21:00 までとし、それまでには撤収するよう企画に指示した

※　片付け日はそれぞれの作業が終わり次第終了とした

E. 会場

前夜祭：　第二・第三エリア屋外
本　祭：　第二・第三エリア、第一エリア、会館エリア、体芸エリアを中心とする本学諸施設およびペデストリアンデッキ

F. 主催・後援

主催：全学学類・専門学群代表者会議
後援：筑波大学紫峰会基金
筑波大学基金
一般社団法人茗渓会
つくば市

G. 運営組織

平成 30 年度筑波大学学園祭実行委員会

H. 企画

委員会開催企画を除く全ての企画募集および一般企画管理は総務局の管轄とし、ステージ企画管理はステージ管理局の管轄とした。企画登録および申請は雙峰祭オンラインシステム（詳細は「II.詳細 H.情報システム局」を参照）にて受け付けた。

1. 委員会開催企画

詳細は「II.詳細 H.情報システム局、J.本部企画局」を参照

2. ステージ企画

詳細は「II.詳細 I.ステージ管理局」を参照

3. 一般企画

詳細は「II.詳細 C.総務局」を参照

I. 予算の方針

財務局が中心となって、実計に記載した方針に沿って、予算案を作成した。

II.詳細

A. 委員長団

1. 渉外活動

学内外の各種団体との渉外活動を行った。

(1) 学内

全代会および内行と、実計の審議・承認などで連携した。また、体芸エリアの芸術祭参加枠の企画をまとめる芸術祭実行委員会と、情報共有や企画の管理等を共同で行った。加えて、全代会の主催する学生組織連絡会や学長との茶話会、つくば市長との懇談会などにも参加し、スポーツ・デー学生委員会や宿舎祭実行委員会などとも交流した。

(2) 学外

関東学園祭交流会に出席し、他大学の学園祭運営組織との意見交換を行った。(株)ぐるなび運営の「レッツエンジョイ東京 学園祭グランプリ 2018」にエントリーし、首都圏への広報を強化する他、他大学の学園祭と比較する機会を作った。

つくば市と連携し「つくば市×雙峰祭プロジェクト」を行った。このプロジェクトの詳細については別途資料の「平成 30 年度つくば市×雙峰祭プロジェクト報告書」を参照。

2. 内部規則の制定

実計通りに行った。

3. 各種規則の制定

(1) 禁止事項

実計通りに行った。

(2) 協賛の規制

① 金銭協賛

実計通りに行った。

② 物品協賛

実計通りに行った。

(3) 酒類規制

① 学園祭における酒類の取扱い

実計通りに行った。

② 樽酒振る舞い

実計通りに行った。

③ 広報

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、雙峰祭公式 Twitter アカウント及び雙峰祭公式 Facebook アカウントについては、媒体の影響力を考慮した結果不要と判断し、広報は行わなかった。

4. 学実委内業務の監査および補佐

実計通りに行った。

5. 業務に関する物品の補充

実計通りに行った。

6. 学園祭実行計画書および学園祭総括報告書の作成

実計通りに行った。

7. 「目的の評価」作成に向けた調査書の提出

実計通りに行った。

8. 当日運営の統括

(1) 喫煙所

実計通りに行った。

(2) 消火器

実計通りに行った。

(3) 車椅子

貸出しの途中で車椅子 2 台に不具合（パンク、車輪の故障）が生じたため、新たに生命環境エリア支援室、システム情報エリア支援室から車椅子をそれぞれ 1 台借用した。

(4) 授乳室

実計通りに行った。

(5) 電話対応

実計通りに行った。

9. 体育会公開練習の管理

追加提出分にて提出したものに加えて、以下の団体と場所を追加した。それ以外については実計通りに行った。

団体名	使用希望施設
女子ラクロス部	セキショウフィールド
水泳部水球	屋内プール
ライフセービング部	屋内プール
医学バレーボール部	第 4 体育館、第 2 体育館（AB 面）
陸上競技部	陸上競技場

B. 財務局

1. 予算案作成

学実委の一次予算案は 5 月に学実委内で承認を受け、続けて 6 月に全代会から、7 月に学生財務会議から承認を受けた。また、二次予算案は 10 月に学実委内、全代会および学生財務会議で承認を受け、大学に提出した。予算項目は晴天時を想定して作成したものを中心に、悪天候時、中止時の変更点を記載したものを作成した。

2. 金銭管理

実計通りに行った。

3. 運営資金の調達

(1) 学園祭学生分担金

学園祭運営資金として、学分金の集金を 4 月から 8 月まで行った。詳細は別途資料「平成 30 年度筑波大学学園祭実行委員会決算報告書」を参照。

(2) 筑波大学紫峰会基金　課外教育行事援助金

筑波大学紫峰会基金に課外教育行事援助金を申請し、100 万円の援助を受けた。

(3) 茗溪会援助金

申請しなかったため、茗溪会からの援助は受けなかった。

4. 企画団体物品支給制度の実施

(1) 目的

実計通りに行った。

(2) 概要

実計通りに行った。

(3) 詳細

① 全企画を対象とする支給

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、支給日に受け取ることが難しい企画や支給物品の納品遅れがあったため、随時企画対応を行った。別日に来る企画が一定数（18 企画）あったので、対応の意義はあった。

② 金銭授受を行わない企画を対象とする支給

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、支給日に受け取ることが難しい企画や支給物品の納品遅れがあったため、随時企画対応を行った。別日に来る企画が一定数（3 企画）あったので、対応の意義はあった。

③ 追加申請

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、支給日に受け取ることが難しい企画や支給物品の納品遅れがあったため、随時企画対応を行った。別日に来る企画が一定数（1 企画）あったので、対応の意義はあった。

5. 保険の管理

(1) 施設所有者・管理者賠償責任保険

実計通りに行った。

(2) 生産物賠償責任保険

実計通りに行った。

(3) 動産保険

実計通りに行った。

(4) 普通傷害保険

実計通りに行った。

6. 決算報告書の作成

実計通りに行った。

C. 総務局

1. 一般企画団体（学術参加枠・芸術祭参加枠含む）の募集および登録受付

⑴ 募集期間

実計通りに行った。

⑵ 募集要項の周知

実計通りに行った。

⑶ 登録方法

実計通りに行った。

⑷ 企画責任者本人確認

実計通りに行った。

2. 学術参加枠の注意事項および説明

実計通りに行った。

3. 芸術祭参加枠の注意事項および説明

実計通りに行った。

4. 企画団体の情報管理

実計通りに行った。

5. 企画団体への各種連絡・指示

⑴ 企画募集説明会

実計通りに行った。

⑵ 企画団体責任者連絡集会（企団連）

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、第 2 回企団連に欠席した企画に対しては、開催週の土曜日に筑波大学院入学試験が開催されるため、該当企団連開催週の金曜日までに資料を受け取りに来た企画は出席扱いとした。

第 6 回企団連に関しては、第 7 回企団連が第 6 回企団連開催週の金曜日に開催されるため、第 6 回企団連開催週の木曜日までに資料を受け取りに来た企画は出席扱いとした。

さらに、第 7 回企団連に関しては企画実施日に企団連資料を受け取りに来た企画は出席扱いとした。

(3) 一般企画用マニュアル

実計通りに行った。

(4) 調理企画用マニュアル

実計通りに行った。

(5) 企画登録証

実計通りに行った。

(6) 会場清掃

実計通りに行った。

D. 広報宣伝局

1. 広報宣伝活動

(1) オフィシャルポスターの掲示

実計通りに行った。

(2) 情報誌への広告掲載

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、費用を再検討した結果、茨城新聞・ezpress には依頼しなかった。

(3) 横断幕の設置

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、他の業務との調整の結果、10 月 13 日（土）に設置を行った。

(4) 公共交通機関への広告掲示

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、掲示するスペースの条件や費用を考慮した結果、守谷駅には掲示せず、南流山駅に掲示した。

(5) 広報物の配布

申請したが受理されず、実施しなかった。

(6) 学内での宣伝活動

① カード立て

実計通りに行った。

② 大学説明会における配布活動

実計通りに行った。

③ 宣伝看板

実計通りに行った。

④ 雙峰祭通信

実計通りに行った。

⑤ 宣伝ポスター

実計通りに行った。

⑥ カウントダウン掲示板

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、台風の影響を考慮した結果、看板の設置日とカウントダウンの開始日を10月26日（金）とした。

⑦ 雙峰祭旗設置

実計通りに行った。

(7) SNSを用いた広報宣伝活動

実計通りに行った。

2. 学園祭公式テーマの募集・決定

(1) 目的

実計通りに行った。

(2) 募集方法

実計通りに行った。

(3) 募集期間

実計通りに行った。

(4) 投票方法

実計通りに行った。

(5) 投票期間

実計通りに行った。

(6) 著作権

実計通りに行った。

3. 学園祭公式マスコットキャラクターの募集・決定

(1) 目的

実計通りに行った。

(2) 募集方法

実計通りに行った。

(3) 募集期間

実計通りに行った。

(4) 投票方法

実計通りに行った。

(5) 投票期間

実計通りに行った。

(6) 著作権

実計通りに行った。

4. オフィシャルポスターの制作・管理

(1) 仕様及び発注先

① 学校、市町村役場、公共施設、近隣商店等への送付及び掲示用オフィシャルポスター（大）

実計通りに行った。

② 学校、市町村役場、公共施設、近隣商店等への送付及び掲示用オフィシャルポスター（小）

実計通りに行った。

③ つくばエクスプレス駅構内掲示用オフィシャルポスター

実計通りに行った。

(2) 配布・掲示

実計通りに行った。

5. オフィシャルパンフレットの制作・管理

(1) 発注先

実計通りに行った。

(2) 配布

実計通りに行った。

6. 当日放送機材の準備・管理

(1) 設置期間

実計通りに行った。

(2) 設置場所

実計通りに行った。

7. 広報宣伝の管理

実計通りに行った。

(1) 企画宣伝活動の期間

① 一次宣伝申請

実計通りに行った。

② 二次宣伝申請

実計通りに行った。

③ 当日宣伝申請

実計通りに行った。

(2) 使用できる宣伝媒体

① Web サイト・SNS

実計通りに行った。

② 宣伝用配布物及び掲示物

実計通りに行った。

8. 企画宣伝支援

(1) 企画宣伝用エリア別看板

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、企画団体のポスター申請時期を考慮した結果、11 月 1 日（木）に設置した。また、看板設置場所の空きを考慮した結果、第一エリアには設置しなかった。

(2) 学園祭特設掲示板

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、他の業務との兼ね合いを考慮した結果、10 月 31 日（水）に設置した。また、宣伝効果を考慮した結果、追越学生宿舎共用棟前には設置しなかった。

E. 渉外局

1. 運営資金の調達

(1) 構成員援助金

実計通りに行った。

(2) 協賛金

実計通りに行った。

2. 物品の調達

実計通りに行った。

F. 推進局

1. 保健衛生の管理

(1) 保菌検査

実計通りに行った。

(2) 検食

実計通りに行った。

(3) 消毒液の配付

実計通りに行った。

(4) 水道の管理

① 水道ネット

実計通りに行った。

② 水道の制限

実計通りに行った。

③ 仮設水道の設置

実計通りに行った。

④ 手洗い水道の設置

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、ポリタンクを用いた簡易的な水道とともにハンドソープも設置し、ポリタンクの水は推進局員が定期的に補充した。

(5) 食品の回収

実計通りに行った。本祭 1 日目及び本祭 2 日目の 10:00 以降に受け取りを希望した企画は一度案内所で対応し、その後担当者が直接受け渡した。

(6) 調理場

実計通りに行った。

(7) 禁止事項

実計通りに行った。禁止事項に違反した企画にはその旨を伝え、禁止行為を止めるよう指示した。

2. 各種貸出申請

(1) 借用物品の貸出し

① 機材

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、機材は人間エリア支援室、数理物質エリア支援室、体育芸術エリア支援室からも借用を行い、生命環境エリア支援室、筑波技術大学からの借用は行わなかった。

② テント

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、担当者が運転可能な 1.25t トラックのレンタルができなかったため、トラックの借用先をオリックス自動車株式会社からトヨタ自動車株式会社に変更した。

③ 調理器具

実計通りに行った。

(2) 宣伝用看板の貸出し

実計通りに行った。

3. 各種物品購入

(1) エコ食器

実計通りに行った。今年度におけるエコ食器の申請企画数は、42 企画であった。エコ食器の回収率を上げるために、エコ食器使用企画に配付した掲示物、オフィシャルパンフレット等によって、来場者に対しエコ食器の存在の周知を図った。回収率は 59%ほどであった。

(2) ガス

実計通りに行った。

4. 各種物品調達

(1) レンタル会社を通じての物品調達

実計通りに行った。

(2) リヤカー

実計通りに行った。

G. 総合計画局

1. 会場配置計画

(1) 企画実施場所・企画実施日時の決定

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、第 3 回企団連にて「第 1 回企画実施場所」を一般企画団体へ配付した。また、第 3 回企団連以降から第 4 回企団連実施前の間に変更が生じた一部の企画団体へ、第 4 回企団連にて「第 2 回企画実施場所」を配付した。また、会場の混雑が予想されたため、第 3 回企団連にて、決定した企画実施場所・企画実施日程を企団連実施会場脇にて掲示しなかった。その代わりとして、企団連の個別資料にて企画団体に周知を行った。

(2) 解錠・施錠

実計通りに行った。

(3) 教室内の機材

実計通りに行った。

(4) 屋外企画案内板

実計通りに行った。

(5) 宣伝演奏

実計通りに行った。

(6) 使用会場

① 屋外

実計通りに行った。

② 屋内

実計通りに行った。

2. 電気計画

(1) 屋内

実計通りに行った。

(2) 屋外

概ね実計通りに行った。ただし実計との相違点として、第一エリア、第二・第三エリアの屋外における仮説分電盤が持つ給電能力を超えた分の電力を屋内から給電する場合については、以下の場所より電工ドラムを接続して給電した。

- ☐ 3B 棟 1 階
- ☐ 1E 棟 1 階
- ☐ 1E 棟 2 階
- ☐ 1E 棟 2 階（仮設コンセント）

3. 机・椅子移動計画

(1) 備品確認

実計通りに行った。

(2) 備品振分け

実計通りに行った。

(3) 当日の動き

実計通りに行った。

(4) 机・椅子保管場所

実計通りに行った。

4. 美化計画

(1) 分別

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、企画から牛乳びんを個別に回収して欲しいとの申し出が第 5 回企団連においてあったため、第二・第三エリアの共用ごみ箱に牛乳びん用のコンテナを設置し回収を行った。牛乳びん用のコンテナは申し出のあった企画のものを使用した。

(2) ごみ箱

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、新たに人文社会学系棟2階に「可燃ごみ」、「ペットボトル」、「ペットボトルキャップ」用の共用ごみ箱を設置した。

また、雨天時の対応において、中央図書館横の共用ごみ箱は封鎖予定だったが、雨天時のごみ箱のみでは不足すると判断し、この箇所のごみ箱は封鎖しなかった

(3) 臨時ごみ集積所

実計通りに行った。

(4) 会場の景観維持

実計通りに行った。

5. 総合交通計画

(1) 看板設置

① 交通案内看板設置

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、いくつかの看板において、内容は変更せず、使用する看板を変更した。理由は、借用予定であったものが借用できなかったためである。

② 案内看板設置

実計通りに行った。

(2) 交通規制

① 進入禁止

a) 期間
実計通りに行った。

b) 方法
実計通りに行った。

c) 進入可能な車両
実計通りに行った。

d) 場所
実計通りに行った。

② 通行規制

a) 期間
実計通りに行った。

b) 規制内容

実計通りに行った。

c) 進入可能な車両

実計通りに行った。

③ 通行証の発行

実計通りに行った。

a) 通行規制の対象の詳細

実計通りに行った。

④ ペデストリアンデッキの規制

a) 期間

実計通りに行った。

b) 方法

実計通りに行った。

c) 通行可能な車両

実計通りに行った。

d) 規制場所

実計通りに行った。

⑤ 自転車撤去

a) 期間

実計通りに行った。

b) 撤去元及び撤去先

実計通りに行った。

c) 撤去方法

実計通りに行った。

⑥ 特設駐輪場

a) 期間

実計通りに行った。

b) 方法

実計通りに行った。

c) 場所

実計通りに行った。

⑦ 駐車場の規制

a) 一般向けに開放する駐車場

実計通りに行った。

b) 駐車許可証の発行

実計通りに行った。

c) 障害者等用駐車場

実計通りに行った。

6. 雨天時対応

実計通りに行った。

H. 情報システム局

1. システムの開発および情報基盤の維持・管理

(1) 雙峰祭オンラインシステム

実計通りに行った。

(2) 学実委内情報環境の維持・管理

実計通りに行った。

(3) ソフトウェアライセンス・独自ドメイン等の情報系契約の維持・管理

実計通りに行った。

(4) 当日の通信インフラの構築・管理

実計通りに行った。

(5) 委員会開催企画で使用するシステム等の開発・運用

委員会開催企画「雙峰祭グランプリ 2018（詳細は「II.詳細 J.本部企画局」）」で用いる投票システムの開発を行った。

2. 各種 Web サイトの制作・管理

実計通りに行った。

3. 各種映像の制作

実計通りに行った。

4. 委員会開催企画

(1) 学園祭生中継プロジェクト

① 目的

実計通りに行った。

② 概要

実計通りに行った。

③ 実施場所

実計通りに行った。

④ 雨天時対応

実計通りに行った。

⑤ 著作権対応

実計通りに行った。

5. 使用する写真・映像の肖像権についての対応

実計通りに行った。

I. ステージ管理局

1. ステージ企画団体の募集及び受付登録

(1) 募集期間

実計通りに行った。

(2) 募集要項の周知

実計通りに行った。

(3) 登録方法

実計通りに行った。

(4) 企画責任者本人確認

実計通りに行った。

2. 企画団体の情報管理

実計通り行った。

3. 企画団体への各種連絡・対応

(1) ステージ組合

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、 Public Address（以下、PA）との面談も行った。

(2) ペナルティ制

実計通りに行った。

(3) 企画団体への対応

実計通りに行った。

4. UNITED ステージにおける交通規制・自転車撤去

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、当日の作業工程スケジュールを考慮した結果、自転車撤去を 6:40 から開始した。

5. 前夜祭における各ステージの管理・運営

(1) 企画実施日時

実計通りに行った。当日はほぼタイムスケジュール通りに終了した。

(2) 企画実施場所

実計通りに行った。

6. 本祭における各ステージの管理・運営

(1) UNITED ステージ

① 企画実施日時

実計通りに行った。

② 安全対策

実計通りに行った。

(2) 松美池

実計通りに行った。

(3) 大学会館

実計通りに行った。

7. 後夜祭におけるステージの管理・運営

(1) 企画実施日時

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、雨天のため 18:00 から開始した。

(2) 企画実施場所

実計通りに行った。

8. 花火の打ち上げ

(1) 打ち上げ日時

実計通りに行った。

(2) 交通規制

実計通りに行った。

(3) 中止判断

実計通りに行った。

(4) 警察署及び消防署への申請

実計通りに行った。

(5) 周知

① 回覧板

実計通りに行った。

② 交通規制看板

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、看板の設置を 11 月 1 日（木）に行った。

③ 打ち上げ場所周辺施設への注意喚起

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、看板の設置を 11 月 1 日（木）に行った。

④ 打ち上げ場所周辺駐車場利用者への注意喚起

実計通りに行った。

⑤ ループ道路を利用する公共交通機関への交通規制の説明

実計通りに行った。

⑥ 雙峰祭公式 Web サイト・オフィシャルパンフレットでの注意喚起

実計通りに行った。

9. 雨天時対応

実計通りに行った。

10. 写真・ビデオ撮影

実計通りに行った。

11. 警備

(1) ステージ企画に対する警備

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、企画番号 8.Neopolis BIGBAND は雨天中止となったため、警備を行わなかった。また、企画番号 2.つくばアイドル FES2018 及び企画番号 15.学園祭 LIVE2018 は写真撮影、ビデオ撮影、音声記録を禁止した。

(2) 委員会開催企画に対する警備

① 子ども劇・Music Fever Live（松美池）

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、Music Fever Live における警備は、トラロープでの警備を止めて実行委員及び当日スタッフの配置のみを行った。

② 前夜祭・後夜祭（UNITED ステージ）

実計通りに行った。

J. 本部企画局

1. 学術部門

(1) 受験応援

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、必要な人員を再検討した結果、キャンパスツアーは実施しなかった。来場者数は約 480 人であった。

(2) つくば研究紹介

概ね実計通りに行った。ただし実計との相違点として、参加研究機関に国際農林水産業研究センターが加わった。来場者数は約 1900 人であった。

(3) つくばイチ受けたい授業

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、実施会場を 3A203・3A212 に変更した。参加者数は約 450 人だった。

(4) 水の実験教室

実計通りに行った。来場者数は約 1000 人であった。

2. 装飾部門

(1) 立体装飾

概ね実計通りに行った。ただし実計との相違点として、シンボルオブジェの実施場所を松美池付近のみとした。

(2) Image The Design

実計通りに行った。

3. 来場者参加型部門

(1) ゆるキャラ®企画

概ね実計通りに行った。ただし実計との相違点として、招致したゆるキャラは稲敷市「稲敷いなのすけ」から常総市「千姫ちゃま」に変更した。また、ゲストとして筑波大学附属図書館より「がまじゃんぱー」を招致した。

屋外の練り歩きは両日ともに 12:00～13:00 の間は宣伝演奏の実施につき中止したほか、本祭 2 日目の 13:22 に降雨を確認したのでそれ以降の屋外の練り歩きを中止した。来場者数は約 1500 人であった。

(2) 子ども劇

実計通りに行った。観客数は約 550 人であった。

(3) ぺったんこラリー

実計通りに行った。参加者数は約 1400 人であった。

(4) 樽酒振る舞い

概ね実計通りに行った。ただし実計との相違点として、本祭 2 日目に雨が降ったため雨天時対応を取り、1H101 で企画を実施した。また、来場者には地酒とともに地酒について紹介したカードを配付した。来場者数は約 2750 人であった。

(5) 筑波迷宮からの脱出

実計通りに行った。来場者数は約 880 人であった。

⑹ ワールドクイズラリー

実計通りに行った。参加者数は約 700 人であった。

4. 前夜祭部門

⑴ つくバラエティー

概ね実計通りに行った。ただし実計との相違点として、出場辞退があったため、出場団体は「中国留学生学友会」を除いた 4 団体となった。また、企画開始時間が 6 分遅れて 19:06 となった。遅れた主な理由としては転換における学実委の不手際によるものであった。

⑵ TSUKUBA COLLECTION 2018

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、前夜祭において企画開始時間が 12 分遅れて、19:52 となった。前夜祭において企画開始時間が遅れた主な理由としては転換における学実委の不手際によるものであった。

また、後夜祭において企画開始時間が 2 分早まり、19:04 となった。後夜祭において企画開始時間が早まった主な理由は、降雨により前の企画の時間が短縮されたためである。総投票数は 28500 票であった。

5. 後夜祭部門

⑴ 後夜祭 LIVE

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、降雨のため、出演する予定だった purplume と WINS が出場辞退した。企画は 18:10 から始まり 18:37 に終了した。

⑵ 雙峰祭グランプリ 2018

概ね実計通りに行った。ただし、抽選会は予定より景品数が多かったため時間が 14:00-14:30 となった。参加者数は約 400 人であった。

⑶ つくばお笑いライブ 2018

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、降雨により本企画の次の企画が中止されたため､花火までの時間を合わせるために実施時間が 19:27～20:15 となった。観客数は約 3000 人であった。

⑷ Music Fever Live

実施会場及び募集方法は実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、PA の雨天時判断により 16:20 に企画を中断し、続行が不可能であると判断したため企画を中止した。

K. 案内所運営部会

1. 当日の運営体制の管理

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、本祭 1 日目に関しては、委員長の欠席のため、副委員長が本部長として運営統括を行った。

2. 案内所の運営

(1) 案内所運営時間

実計通りに行った。

(2) 来場者対応

① オフィシャルパンフレットの配布

実計通りに行った。

② 迷子対応

実計通りに行った。

③ 落し物対応

実計通りに行った。

(3) 企画対応

実計通りに行った。

(4) 本部・他のエリアの案内所との情報共有

実計通りに行った。

3. 当日の巡回

実計通りに行った。

4. 雨天時・強風時の対応

本祭 2 日目の 16:26 に雨天時少雨判断を下し、屋外実施企画による調理及び調理品の販売・配布を中断させた。その後天候が回復したため、18:00 に雨天時少雨判断を解除した。

5. 緊急時の対応

(1) 傷病者・嘔吐者発生時の対応

実計通りに行った。学園祭において発生した傷病については、各々適切な処置を施した。

(2) 火災発生時の対応

実計通りに行った。

(3) 地震発生時の対応

実計通りに行った。

6. 休憩所の運営

実計通りに行った。

L. 調査専門部会

1. 来場者を対象としたアンケートの実施

(1) 来場者アンケート

実計通りに行った。

(2) Web アンケート

実計通りに行った。

(3) 委員会開催企画アンケート

実計通りに行った。

2. 企画団体への調査

(1) 企画アンケート

実計通りに行った。

(2) 座談会

実計通りに行った。

3. 観察調査の実施

実計通りに行った。総来場者数は 33,000 人程度であった。

4. アンケートの集計

実計通りに行った。

5. 福引所の運営

⑴ 実施時間

実計通りに行った。

⑵ 実施場所

実計通りに行った。

6. SNSを用いた広報宣伝活動

実計通りに行った。